

わたしたちは、良質な医療を提供し、地域の皆様から愛され、信頼される病院を目指します!



# まいちよこ通信

2022年  
秋号  
VOL.4

通所リハビリ



作業療法(一般科)



作業療法(精神科)

## 芸術の秋

「コロナ流行の影響で文化祭が行えず、紙面作品展として作品の写真を掲載します。」



通所リハビリ



精神科デイケア

## 特集

## 小児科受診のご案内

〈主な内容〉

- 小児科受診のご案内
- キラリ ひかる☆ (職員紹介)
- オンライン面会

# 小児科受診のご案内

西伯病院の小児科は令和4年4月から新体制になりました。

「何でも気軽に相談できる町の小児科」を目指しています。風邪をひいた、ブツブツが出た、発達が気になる、学校に行けない、何でもお伺いします。「こんなことで受診してもいいのかな？」の心配は無用ですので、お気軽に相談して下さい。

子どもたちとご家族の気持ちに寄り添い、みんなが安心して過ごせるように、スタッフ一同、全力でサポートします。



	月	火	水	木	金
午前 8:30～ 12:00	坪内	坪内	坪内 片山	坪内	坪内
午後 13:30～ 17:00	坪内	坪内	坪内 片山	坪内	坪内

- 受付は7:30～11:30、13:00～16:30です。
- 予防接種は完全予約制です。子どもさんの体調や生活リズム、ご家族さんのご都合に合わせて柔軟に対応していますのでお電話して下さい。
- 予約をすることでなるべく待ち時間が短くなるようにして、待合室の混雑から感染することがないように心がけています。もちろん予約外の方の診察もしています。
- 発熱や風邪症状のある方は別室で診察をしていますので、受診の際にはあらかじめお電話での連絡をお願いいたします。
- 片山先生の診察は水曜日のみですのでご注意ください。



当科で可能な検査や処置は以下のようなものがあります。

子どもさんの状態に応じて過不足がないように検査や処置をします。

検査や処置の際には、子どもが理解できる言葉や方法で説明をし、一緒に検査や処置が乗り越えられるようにサポートします。

また入院や専門的な検査や治療が必要な場合などは適切な医療機関に紹介します。

## 主な診療内容

- 風邪、胃腸炎、各種感染症
  - 気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、花粉症、アレルギー性鼻炎
  - 便秘症、夜尿症
  - 成長障害、肥満、やせ、貧血
  - 腎臓病、尿路感染症
  - じんま疹、皮膚疾患
  - てんかん、熱性けいれん
  - 慢性頭痛
  - 子どもの発達、言葉の遅れ
  - 発達障害、不登校、親子関係、思春期、勉強についていけない
  - 起立性調節障害、過敏性腸症候群
  - 心身症
  - 子育て相談
  - 乳幼児健診、学校健診での異常の指摘
  - 心臓病、不整脈（水曜日に片山医師が診察します）
- など

- 血液検査、尿検査
- 超音波検査（エコー）
- レントゲン検査
- CT検査
- 呼吸機能検査
- 脳波検査

- 新起立試験
- 発達検査、知能検査
- 食物負荷試験
- 栄養相談
- カウンセリング

- 新型コロナ検査
  - 点滴
  - 吸入
  - 浣腸
- など



## 一般診察



## ほかに、こんなこともしています。



### 食物負荷試験

食物アレルギーの診断の時や、解除を考える時に行います。

今除去食だけど、いつまでするのか？・食べさせてみたいけど心配、などはありませんか。ご相談下さい。

### 新起立試験

起立性調節障害の検査です。

起立性調節障害は思春期に多い自律神経機能不全の一つで、たちくらみ、失神、朝起き不良、倦怠感、動悸、頭痛などの症状が出ます。症状の程度に応じた適切な治療と生活における環境調整を行います。



### 脳波検査

てんかんやけいれんの検査です。

てんかんは小児期の発症が多く、治療は長期にわたるため、てんかん発作を抑制することに加えて、日常生活や学校生活を健やかにあくれるように支援を行います。



### 発達検査、カウンセリング

乳幼児の発達の診察や検査、発達障害、不登校など、発達や心の相談はゆっくりお話しできるように心がけています。発達検査や心理士によるカウンセリングも可能です。お気軽にご相談ください。





# キラリ ひかる☆(職員紹介)



外来看護師 山中 麻子

現在、私は内科外来に所属し、本年より鳥取県糖尿病療養指導士として糖尿病看護に携わっています。

## ■「鳥取県糖尿病療養指導士」資格取得のきっかけ

糖尿病は知らず知らずのうちに病気が進行し、命に関わる合併症を引き起こします。自覚の少ない病気のため、患者さんへの指導が難しいと感じていました。

私は、外来での糖尿病患者さんとの関わりのなかで、ある患者さんが合併症の末期に苦しんでおられる姿をみて、もっと良いアプローチが出来ていたら、患者さんの未来は違っていただけないのだろうか、無力感を感じることがありました。この経験から糖尿病療養指導士の資格取得を目指すようになりました。

## ■日々の外来看護で心がけていることは？

患者さんの目線に立ち、患者心情に配慮した看護実践を心掛けています。糖尿病療養指導士は、より専門的な知識を持ち、患者さん一人ひとりの生活スタイルに配慮しながら、現実的な目標を患者さんと一緒になって考えています。患者さん自身がその目標に到達することで達成感が生まれ、適切な自己管理へと繋がります。

## ■今後の意気込みは？

今後も医師の治療方針と、患者さんの現実的な生活の橋渡しになれるよう活動していきます。常に病気とともにある糖尿病患者さんが、健康な人と変わらない生活が維持できるように取り組んでいきたいです。みなさま気軽にご相談ください。

【療養指導】 合併症についての勉強、インスリン指導、足趾の観察、自己血糖測定指導、食事療法、運動療法



## オンライン面会の場所を新しくしました

これまでのオンライン面会場所は、図書コーナーと兼用のスペースを、パーティションによってエントランスホールと分けをしていました。

このたび、図書コーナーを取りやめ、オンライン面会専用のスペースとしました。また、木製扉を設置し、オンライン面会を行うためのプライバシーに配慮しました。

コロナ禍で面会制限継続中であり、入院患者様とご家族様がお話しする機会が少なくなっています。

新しいオンライン面会室を活用して、患者様とご家族様が顔を見てお話しすることで、お互いの安心感にもつながれると思います。

今後もオンライン面会を活用していただければと思います。

なお、オンライン面会は平日14～16時の間で、1回につき15分間利用できます。

操作が不明な方は、職員がお手伝いを致します。

希望される方は当院までご連絡ください。



(写真は、撮影用に扉を開けています。)

南部町国民健康保険西伯病院

〒683-0323 鳥取県西伯郡南部町倭397

TEL 0859-66-2211 <http://www.saihaku-hospital.com/>

病院に関するご意見、ご要望、また、広報誌に対するご意見などお待ちしております。

